

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長菊池由紀夫議員、副委員長龍本孝一議員）は、条例6件、予算6件、その他7件について付託を受け、審議を行いました。
今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全19議案が原案のとおり可決・承認されました。

行政機構を改革

問 新たな組織は分かりやすく、イメージが湧くような名称か。

答 そのような基本方針の下で組織再編を行ってきた。

問 機構改革に伴う予算は。

答 窓口等の表示に約50万円だが、教育委員会等の場所変更などがあることから総体で100万円前後要すると見込んでいる。

問 組織再編により機能が充実するの。

答 職員を増員できないことに対応した再編でもあり、産業部については第一次産業から6次産業まで一つの部になることから、更に前進すると考えている。

問 今までの関係機関団体との推進体制をどのように図るの。

答 関係を崩さないで、新たに構築していくという意識を持って進めていく。

問 職員の能力を引き

出すことも意識し、担当者不在でも職員間で業務状況の共有を図って総合力を高め、市民の期待と負託に応えていくことが基本では。

答 組織再編を契機として職員の意識改革が重要である。*スタッフ制に更に踏み込みながら懸念を払拭できるように職員配置と事務執行を進める。

問 業務に応じて部内で柔軟に配置できるようにしては。

答 管理職が業務を把握していることが前提。デメリットを解消しながら浸透させていきたい。

※スタッフ制とは
課内等において事務事業内容に即応（職員配置）できる組織→係りを置かない

問 中心市街地の核になれるか

問 とおの物語の館条例の制定理由は。

答 市内中心市街地の核として、新たな観光客の流れを創り、観光による地域活性化を図っていく目的で提案。

答 岩手銀行跡地に駐車場と催事利用のできる環境を整え、館全体の賑わいを図る。その中で、飲食部門の伊藤家と茶蔵は民間に貸し出し、市内で出店意欲ある事業者の活躍の場として確保していきたい。

問 入居する業者の条件はあるの。

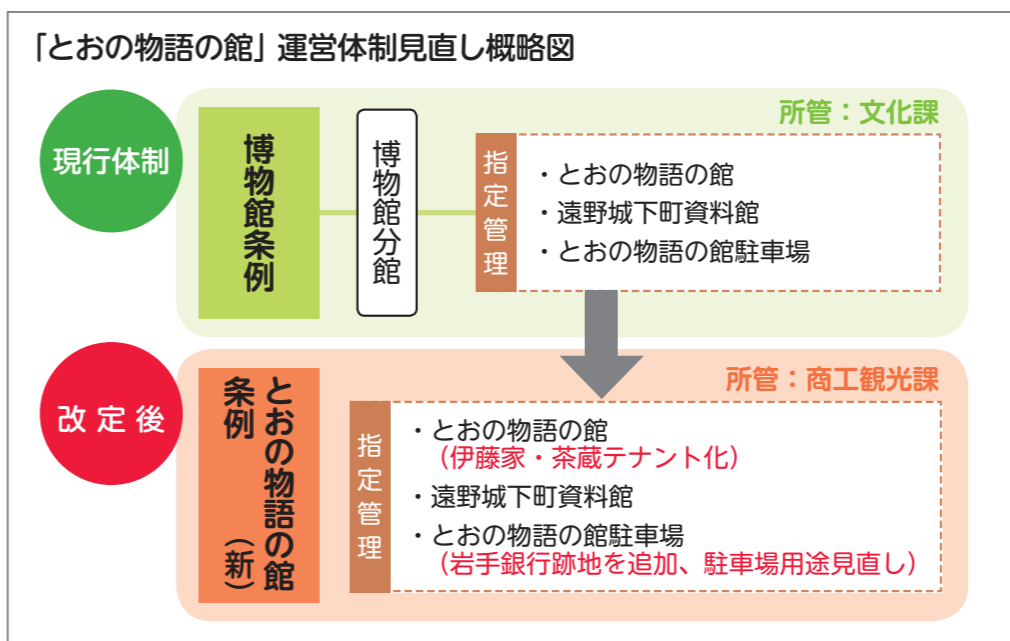
答 飲食部門を考えている。経営計画等を勘案し進めていく。

問 テナント料の設定は借受け面積で積算し、定額とした方が安定するのは。

答 テナント料は売上げの30%以内とし、売り上げを考慮して、柔軟に設定した。

問 中心市街地活性化に向けた考えは。

答 市街地への誘客を



目的として、今後、観光推進協議会を立ち上げ、戦略会議等を定期的に開催し、賑わいを図っていききたい。

問 伊藤家単独の指定管理にできないのか。

答 とおの物語の館の指定管理者が、全体を管理した方が中心市街地の活性化につながると思われる。

東館庁舎改修で子育て支援の充実を

問 わらすっこルームを拡張する計画があるが、ちびっこルームとわらすっこルームに部屋を分けた理由は。

答 0～6歳児が同じ部屋を利用しており、安全面を気にするご意見もあった。また、療育支援教室も開催しており、年齢等で部屋を分けて利用する計画とした。

問 今後、SNSを活用した周知や、飲食しながらくつろげる空間づくりも必要では。

答 SNSでの周知は検討課題。業者がパン等の販売に来ており、利用者の多い祝日の対応について調整も必要である。

問 子育てするなら遠野のシンボル地として、さらなる充実を図っては。



穏やかな日差しの中、わらすっこルームで楽しむ親子

問 中心市街地再開発プロジェクトに、子育て環境ゾーンとして充実させる構想がある。母子保健施設の移設への思いもあるが、今後の計画である。

※SNSとは
ソーシャル・ネットワークワーキング・サービスの略で、フェイスブックやツイッターなど。

就業意欲を促進

問 生涯いきいき促進事業の内容は。

答 遠野市においても雇用の確保が課題になっている。

問 協議会を新たに設立して高齢者の就業相談やセミナー等を行う事業である。

問 市町村ごとの受託

事業か。

答 全国的には協議会が自治体単位や、広域で受託している。

問 協議会の構成や職員については。

答 シルバー人材センター、商工会、観光協会、職業訓練協会、地元銀行の金融団である。職員3名で、12月から窓口をスタートする予定である。

問 ハローワークとの関わりは。

答 釜石出張所のハローワークと岩手労働局がアドバイザーとして入っている。

問 事業の対象者は。

答 働く意欲があり、企業とマッチングすれば年齢制限はない。

競技・イベント推進事業費の増は

問 寄付金が300万円増額されているがその内容は。



5年連続全国大会出場の遠野高校サッカー部



問 第96回全国高等学校サッカー選手権大会に出場する遠野高校サッカー部を支援する募金委員会が設立されたので、その委員会への寄附金。

問 どのような場合に寄附を行うのか。

答 県立高校ではあるが、全国大会出場に対して、遠野市として支援するために寄附するものである。

問 予算措置が全国大会出場に間に合わない場合の対応は。

答 総合的な判断から緊急的な場合には、予算費で対応していく。

問 寄附金といえども基準を設ける必要があるのでは。

答 派遣人数・期間・場所を勘案し、運動部に限らず文化部等を含め市民が応援したいとの思いに対応していくため、今回の300万円を基準としながら今後決めていきたい。